

3 度目の訪韓・ソウルと北韓山

期間：2018年5月17日（木）～20日（金）

参加者：松江ハイキングクラブ 10名

企画：アルパインツアーサービス ガイド：キム・ジンソク氏（ソウル）

行程：米子空港－インチョン空港－ソウル 往復

ソウル

玄関のインチョン空港は平昌オリンピックに合わせて第二ターミナルができたことで、世界最大の広さで世界のハブ空港のひとつとなっている。我々はエアソウルで米子からインチョンまで1時間30分、出雲から羽田までより近かった。料金もエアソウルは格安便で安いようだ。米子からインチョン経由でヨーロッパやアメリカへ安く行くことができる。ただし JAL や ANA は使えない。

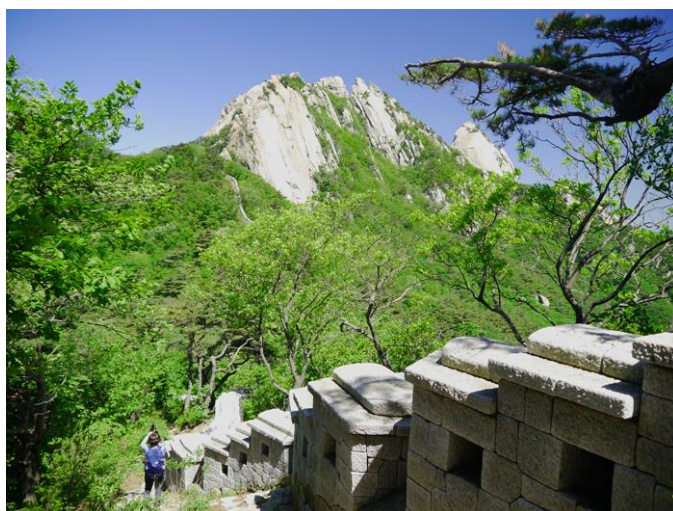
ソウルは人口一千万人の大都会だ。高層ビルが立ち並び、東京並みに繁栄している。都心の明洞は東京の銀座にあたる。光化門広場は市庁から景福宮にまっすぐ伸びる広場で、市民の憩いの場ともなっている。地下鉄が網の目のように繋がり、北韓山の麓まで入っている。都心からでもすぐにハイキングをすることができる。ハイカーにとっては最高に恵まれた街と言える。



北韓山から見渡すソウルの街並みは広大かつ秀麗である。ロッテワールドタワーは新興地の韓江（ハンガン）南側にある。555m、123階の超高層ビルで、北韓山からひととき目立って見えた。我々の泊まったクラウンホテルは韓江に近く、ソウルタワーの建つ丘を越えると都心の明洞、市庁、光化門広場、景福宮があり便利だった。

北韓山

北韓山は大理石の城壁が稜線に沿って延々と続き、まるで万里の長城のようだった。大理石ブロックが精巧に積み上げられ、窓が等間隔でつけられていた。鉄砲か矢を射る窓で日本語だと“狭間”？南北戦争（朝鮮戦争）、秀吉の朝鮮出兵の激戦地ともなり、今も多くの屍が眠っているそうだ。秀吉の頃は虎が住んでいたそうで、加藤清正の虎退治の舞台と



もなった。

我々はキム・ジンソク氏の案内で12の門を巡った。最初の門が大西門(テソムン)、大南門(デナムムン)を経て初日最後に大東門(テドンムン)、二日目は大東門から衛門(ウィムン)を経て最高峰の白雲台(ペグンデ)、最後に北門(プクムン)を経て屍口門(シグムン)、全部の門を経て最後に屍になるそうだ。これらの門に下から道が繋がっており、敵が来たら門を閉めて防戦することになる。

我々は12の門と、最高峰の白雲台を始め義相峰(ウィサンボン)、龍血峰(ヨンヒュルボン)、紫丹峰(シダンボン)、元暁峰(ウォンヒョボン)など13峰を、2日間16時間かけて踏破することができた。

北韓山は4月下旬が最も美しく、ツツジが満開で全山がピンクに染まるそうだ。秋はウリハダカエデが真っ赤に染まる紅葉が魅力的。北韓山は外国人の多い山でもある。登山中に多くの白人と出会ったが北アメリカ、ヨーロッパに加えて南アメリカからもインチョン空港へたくさん観光客が入ってくる。そしてハイキングに北韓山へ。



最高峰の白雲台からは北朝鮮方面がよく見え、日本海に向かって境界が延々と続く。先般南北会談が行われた板門店も、あのあたりと確認できた。街へはいる途中にいくつもの壁があり、有事には爆破して敵の侵入を遅らせる。ソウル市民にとっては境界を隔てて緊張状況が続く。

宗教、文化、生活



韓国では仏教とキリスト教がほぼ均等と聞いた。訪れた寺院には金箔で3体の仏様があり、熱心な信者がお祈りをしていた。境内の木々には信者の願いを書いた無数の短冊がカラフルに吊るされていた。

ソウル大学、清華大学など韓国の大学は入学が難しく、一家を揚げて受験勉強を応援する。よって休日の

お父さんは家では邪魔者扱い。苦勞して入学しても、卒業後は就職難で結婚できない人も多い。男は兵役2年があり、大学在学中に取る人が多くその場合卒業は2年遅れる。

ソウルの娯楽はハイキングである。パチンコや競輪などのギャンブルは禁止され、娯楽に入らない。その代わりにソウルの街はぐるりと山に囲まれ、地下鉄が発達し登

山口まで地下鉄が入っている。手軽にハイキングができ、山の上からはソウルの町並みを眺望することができる。よってソウル市民は週末を中心に家族でまたペアでハイキングという、健全な娯楽として楽しんでいる。



物価は日本と大差はないが、酒類は税率が低いので安い。マッコリは大瓶で1000ウォンぐらい、10で割ると円にほぼ等しい。キム・ジンソクさんの

案内で、お土産を買いに街中の大型スーパーマーケットへ行った。週末の夕方ということで、家族ぐるみで賑わっていた。広い売り場で探すのは大変だが、キム氏が要所を教えてくれた。私はキムチコーナーと韓国海苔コーナーに絞って土産を選んだ。キムチも韓国海苔も他種類有り、日本では売っていないと思われる大根のキムチと味付けのない海苔を選んだ。レジに並ぶと、店員からハングルで聞かれるが分からず困っていると、後ろの女性が日本語に通訳してくれてスムーズに購入できた。20代の美しい女性で、日本語を勉強していると言うOLか大学生。日本語でお礼を言ったらニコリして「どういたしまして」と返してくれた。

電源はC型プラグで110Vと、変圧の必要はない。ホテルのテレビはCNNの他にNHKの日本語放送があり重宝した。街中にはセブン・イレブンがあちこちにあり、ホテルの近くにもあった。スターバックスも街に多く目に付いた。自動車は韓国製が圧倒的に多い。ヒュンダイとキアが多く、日本車はたまに見かける程度だった。

韓国の人々の我々への感触は良かったと思う。お店の人たちはごく自然に、親切に対応してくれた。山で出会う人々も、カムスハムニダと返してくれた。ガイドは歩きながら日本語で韓国のいろいろな面白い話をしてくれた。ただツアーだと団体行動で、一人で彼らと接する機会がなかったのは残念だ。

韓国料理

韓国の料理は口に合い、おいしかった。日本食と違い辛味などパンチがある。

1. サムゲタン



まるごと一羽の鳥の腹に米とアワビ、ニンニク、高麗人参、ナツメ、クルミなどの薬味を合わせて詰め、鍋で煮込んだ料理。スープが美味しく、お粥状になった中身と骨付きの鶏肉を食べると食が進む。

2. 冷麺

南北会談で北朝鮮が紹介した冷麺。麺は蕎麦状であるが、中身はそうめん？あっさりしてスープも美味しい。キムチをオカズにすると良い。

3. 焼肉

目の前の網で焼くが、店員がハサミで切ってくれる。焼きあがったところで野菜の葉で巻いてタレを着けて食べる。好みにコシジャンを付けたり、キムチと一緒に食べる。肉は豚肉が標準で、牛肉はオプションだったのが残念。



4. マッコリ

韓国の地酒。米で作ったにごり酒で、冷やして飲む。甘くて美味しく食が進むが、生酒なので3日程度しか持たない。うっかり飲み過ぎると悪酔いするらしい。私は飲み過ぎのせいか風邪をひいて帰国の途についた。